

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 23 年 11 月 4 日 (2011.11.4)

【公表番号】特表 2010-541182 (P2010-541182A)

【公表日】平成 22 年 12 月 24 日 (2010.12.24)

【年通号数】公開・登録公報 2010-051

【出願番号】特願 2010-528072 (P2010-528072)

【国際特許分類】

H 0 1 R 13/648 (2006.01)

【F I】

H 0 1 R 13/648

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 9 月 12 日 (2011.9.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

コネクタ ( 1 0 , 4 1 0 ) であって、  
前記コネクタ ( 1 0 , 4 1 0 ) は、  
該コネクタ ( 1 0 , 4 1 0 ) の後側に取り付けられた少なくとも一つのシールド ( 2 1 0 ) を有し、  
ケーブルシールド ( 2 1 8 ) を有するケーブル ( 2 2 0 , 4 3 7 ) が前記後側から接続可能であり、  
コネクタシールド ( 2 1 4 , 4 1 4 ) と、少なくとも一つのエクステンション ( 2 1 6 、 4 3 1 ) とを有し、  
前記エクステンション ( 2 1 6 , 4 3 1 ) は、前記ケーブルシールド ( 2 1 8 ) と接続可能であり、前記コネクタシールド ( 2 1 4 、 4 1 4 ) の少なくとも 2 つの異なる入口部分 ( 2 3 4 、 4 1 1 ) に装着可能であり、及び / 又は前記コネクタシールド ( 2 1 4 、 4 1 4 ) に沿って前記コネクタシールド ( 2 1 4 、 4 1 4 ) の少なくとも 2 つの異なる入口部分 ( 2 3 4 、 4 1 1 ) へ同様に変位可能であり、  
少なくとも 1 つの入口部分 ( 2 3 4 、 4 1 1 ) が、少なくとも 1 つのブレイクアウト部分 ( 2 4 4 、 4 2 4 ) を有する、コネクタ。

【請求項 2】

前記コネクタが、ワイヤが前記コネクタ ( 1 0 、 4 1 0 ) の内側で接続可能である接点 ( 1 2 ) と、少なくとも 3 つのワイヤ開口部 ( 1 6 、 1 1 6 、 4 1 1 ) とを有し、各開口部 ( 1 6 、 1 1 6 ) が、少なくとも 2 つのワイヤを収容するように適合され、及び前記接点から遠位の前記コネクタ ( 1 0 、 4 1 0 ) の外側で露出されており、前記ワイヤ開口部 ( 1 6 、 1 1 6 、 4 1 1 ) が、少なくとも 3 つの異なる方向で露出される、請求項 1 に記載のコネクタ。

【請求項 3】

前記コネクタ ( 1 0 、 4 1 0 ) が、ハウジング ( 1 8 、 4 1 2 ) と、少なくとも 1 つのワイヤ開口部 ( 1 6 、 1 1 6 、 4 1 1 ) が形成される少なくとも 1 つのガイドピース ( 2 0 、 1 2 0 ) とを有する、請求項 2 に記載のコネクタ。

【請求項 4】

前記ガイドピース ( 2 0 、 1 2 0 、 4 1 3 ) が前記接点 ( 1 2 ) に向かって駆動するよ

うに適合する少なくとも１つの駆動ピース（２４）を前記ハウジング（１８、４１２）が備え、前記駆動ピースが旋回可能なフラップ（２４，４１４）であり、前記フラップは該フラップ（２４，４１４）が旋回したとき前記ガイドピース（２０，１２０，４１３）を駆動するように構成された少なくとも一つの突起（２６，４２３）を有する、請求項３に記載のコネクタ。

**【請求項５】**

前記旋回可能なフラップ（４１４）が前記コネクタシールド（４１４）である、請求項４のコネクタ。